

The Weekly Journal

Rotary



東京臨海ロータリークラブ
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ



SERVE TO CHANGE LIVES



クラブ会長ターゲット
「ロータリアンとしての成熟」
"REACH MATURITY
AS A ROTARIAN"
2021-2022年度
東京臨海ロータリークラブ会長
佐藤 大輔



国際ロータリーテーマ
「奉仕しよう みんなの人生を
豊かにするために」
"SERVE TO CHANGE LIVES"
2021-2022年度
国際ロータリー会長
シェカール・メータ



衛星クラブ議長ターゲット
「クラブライフを楽しもう」
"Enjoy club life"
2021-2022年度
東京臨海北斗ロータリー衛星クラブ議長
坂本 康朋

2021年11月17日

東京臨海 RC 【第1220例会】
東京臨海北斗 RSC 【第29回例会】

東京臨海RC

創 立 : 1994年8月8日
会 長 : 佐藤 大輔
副 会 長 : 杉浦 孝浩
幹 事 : 勝間田 健一
プログラム
構成委員長 : 田中 紘太
(会報担当)

東京臨海北斗RSC

創 立 : 2020年12月18日
議 長 : 坂本 康朋
副 議 長 : 小松 啓祐
幹 事 : 勝間田 健一

11月17日の卓話

ガバナー補佐訪問

「私のロータリー」
ガバナー補佐 荒井 知久 様

11月24日の卓話

ガバナー公式訪問

「ガバナー講評」
国際ロータリー第2580地区
ガバナー 若林 英博 様

《2021年11月10日例会報告》

東京臨海 RC 第1219回

東京臨海北斗 RSC 第28回

司会：佐藤正樹会員

■点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



■ロータリーソング斉唱「我等の生業」

：ソングリーダー：今井副委員長

■「四つのテスト」斉唱（歌）

■「ロータリーの目的」東京臨海 RC 抜萃 Ver. 唱和
：杉浦副会長



■来賓・ゲストスピーカー紹介：佐藤大輔会長



ゲストスピーカー

江戸川区立障害者就労支援センター所長

鈴木大樹様

一般社団法人みんなの就労センター事務局長

山下光章様

同行者 江戸川区福祉部障害者福祉課長 河本豊美様

米山奨学生 レー・クオック・アン様

■ビジター紹介：尾身会員



鈴木崇嗣様（入会検討者・伊藤会員ゲスト）

■11月のお祝い 篠塚会員



◆会員誕生日

臨海 RC：林敦寿会員、勝間田健一会員、櫻田誠一会員

北斗 RSC：樋口義之会員、橋本郁会員

◆奥様誕生日

臨海 RC：坂本康朋会員夫人、村社研太郎会員夫人、
田村浩康会員夫人

北斗 RSC：見浪大介会員夫人、濱田信孝会員夫人、
小川浩樹会員夫人

◆結婚記念日

臨海 RC：榎本隆文会員、白幡隆広会員、今井博会員、
高橋映治会員、白井正三郎会員、大澤成美会員



北斗 RSC：該当者いらっしゃいません。

◆出席 100%

10年：山田晃久会員

5年：鈴木孝行会員

2年：井上晴貴会員

1年：伊佐康暢会員



◆「誕生日の歌」：ソングリーダー：今井副委員長

◆1分間スピーチ：林会員

◆会長報告：佐藤大輔会長



・次週 11月17日は、荒井ガバナー補佐訪問日です。
この日も会員皆様に現地参加やオンラインでの参加
を宜しくお願い致します。

・今年度ガバナー公式訪問は、11月24日です。例会前
の11時からクラブ協議会を行いますので、臨海RC、
北斗RSCの全会員様に出席をお願いします。
会員皆様の出席とネクタイ着用をお願い致します。

■東京臨海北斗RSC議長報告：坂本康朋議長



・笹島弘隆会員にお見舞いをお渡しします。

■幹事報告：勝間田幹事



・12月3日（金）は、東京臨海西RC創立4周年記念
例会に当たりますので、東京臨海RC・東京臨海東
RC・東京臨海西RC・東京臨海北斗RSCの臨海
4RC合同例会です。主催クラブの東京臨海西RC様
へ出席人数を連絡しますので、出席内容を11月16
日（火）までにご連絡下さるようお願い致します。

・ガバナー月信11月号を11月1日に会員皆様へメール
送信致しました。

・ロータリーの友11月号、バギオだより11月号を本
日メールボックスに配布いたしました。

・前年度地区大会の記録を会員皆様のメールボックス
に配布いたしました。

・11月のロータリーレートは、1ドル=114円です。

・定例理事役員会を本日2時より、3階「松桐の間」で
開催致します。

■委員会報告

・ロータリー財団担当（酒井委員）



ロータリー財団への寄付について

・国際奉仕委員会（柴田委員長）



今年の国際大会は、来年6月にアメリカ・ヒュース
トンで開催される予定です。その国際大会期間中の

2022年6月5日(日)に「国際ロータリー第2580地区ガバナーズランチ」が開催されます。先着120名となっております。

・親睦活動委員会(篠塚委員長)



忘年家族会を12月8日(水)18時より東武ホテルレバント東京にて開催致します。出席者の連絡の締切は本日とさせて頂いております。まだ出席者の連絡をされてない方は、ご協力お願い致します。

・ロータリー情報(高橋副委員長)



①入会3年未満の会員を対象とした「新入会員オリエンテーション」を本日例会後、この会場で開催致します。

②家庭集会を11月に12グループに分けて開催しております。該当グループに出席できない場合は、他グループに参加してください。

・SAA委員会(井上委員長)



本日出席の皆様は、メールボックスの書類をお持ち帰り下さるようお願い致します。

・プログラム構成委員会(田中委員長)
ロータリーの友11月号紹介

■出席状況報告: 太田会員



東京臨海 RC

会員数: 57名

出席: 38名

欠席: 19名

出席率 70.37%

東京臨海北斗 RSC

会員数: 23名

出席: 13名(例会場: 13名 ZOOM: 0名)

欠席: 10名

出席率 56.52%

■ニコニコBOX報告: 伊佐委員



(ご意向) 鈴木所長、山下事務局長、本日、卓話よろしく
お願いします。: 佐藤会長、杉浦副会長、勝間田幹事、
田中会員、尾身会員、井上会員、伊藤会員、今井会員、
須藤会員、本多会員、村社会員、秋田会員、小松会員、
寺田雄司会員、太田会員、金城会員、入澤会員、篠塚
会員、大西会員、佐久間裕章会員、小林誠会員、田村
会員、斉藤会員、渡辺会員、柴田会員、大貫会員、内
海会員、白井会員、見浪会員、菅原会員、坂本康朋会
員、須田会員、高橋会員、地引会員、伊佐会員
(ご意向) いつもありがとうございます。: 倉田会員、竹
下会員、樋口会員

(ご意向) 今月はロータリー財団寄付月間です。みなさん、
よろしくお願い申し上げます。: 酒井会員

(ご意向) 会員誕生日祝いを頂きありがとうございます。
: 勝間田幹事

【38件 72,000円 今年度累計 493,000円】

■卓話 (紹介者: 佐藤大輔会長)



「障害者雇用について」
江戸川区立障害者就労支援センター
所長 鈴木大樹様



障害者雇用に関するご相談窓口

《Point その1》

はじめに、障害者雇用に関するご相談窓口は「ハローワーク」のみに関わらず、都内では区市町村ごとに設置してある「障害者就労支援センター」へご相談することも可能です。

また「東京障害者職業センター上野本所（上野）・多摩支所（立川）」や「東京しごと財団（飯田橋）」で障害者雇用に関する各種ご相談もできます。

そのほか、江戸川区内には「白鷺特別支援学校」・「鹿本学園」の2校があり、各校で進路指導をしている先生方へのご相談も可能です。障害者雇用に関して、熱心に協力してくださる先生方がいらっしゃいます。

企業ご担当者様からの相談内容（時代の変化）
《Point その2》

過去に企業様からよく聞かれた理由 ～納付金に関するお話～ ex)「法定雇用障害者数不足に伴う納付金の支払いから障害者雇用をしなければならなくなり、、、」
求める人材に関するご相談 ～求める人材はどの企業も同じ～ ex)「できれば身体障害の方を採用したい」・・・身体障害 ⇒ 知的障害 ⇒ 精神障害・発達障害

障害者雇用促進に伴い生じてくる相談内容 ～職場定着に関すること～ ex)「どう接すれば?」、「どの仕事ができるのか?」、「なかなか長続きしなくて」など

※今は、人材確保の面からのご相談に変化してきている!! ex)「一般求人かけても応募がなくて、この仕事内容に対し障がいがある方でも出来ないか?」「同業者から障害者雇用の取り組みを聞いて知り、新たな人材確保で相談に来ました」など

企業等への就労に向けて（関係機関のご紹介）

《Point その3》

企業等への就労に向けて就労支援をしている関係機関
障害者就労支援センター、就労移行支援事業所、就労継続支援A型事業所、就労継続

支援B型事業所、地域活動支援センター（センターエドがわ・かさい・こまつがわ）

障害者雇用が促進した主な理由

～適切なジョブマッチング～

- ① 文字だけの情報で就職活動しない・・・「こんなはずじゃなかった」を双方で防ぐため
- ② 就職活動の中で、出来るだけ「企業見学」と「職場体験実習」を行っている
- ③ 就職はゴールではなくスタート、就職後が必要に応じて職場定着支援を行っている
- ④ 企業等での働くを地域で支える仕組みづくりがある

障害者雇用已成功している企業の取り組み

《Point その4》

会社経営者（代表者）のしっかりとした思いがある企業
企業→強い思いや企業としての明確な方針がある企業

その思いに社員もしっかりと理解している企業→トップの方針に対し、自主性や主体性が感じられる企業
障害者雇用の枠組みで働く社員に対して愛情がある企業
企業→障害がある社員だけでなく、結果として一人ひとりの愛情へと繋がっている企業

その社員の自立を真剣に思い・考えられている企業→
真剣な思いが結果として組織にとっての戦力化に繋がっている企業

障害者雇用についてのまとめ

障害者雇用に関して、企業様にご相談できる様々な関係機関があること

納付金に関する相談から人材確保に関する相談に変化してきている

企業等への障害者雇用に向けて、支援する関係機関があること

障害者雇用に成功している企業に共通すること

SDGsをキーワードとした労働時代への変化の予感

「みんなの就労センターについて」
一般社団法人みんなの就労センター
事務局長 山下光章様



本日は、大変、貴重なお時間を頂きまして誠にありがとうございます。私、一般社団法人みんなの就労センターで事務局長を務めております山下と申します。当センターは今年の6月より開設致しましたが、誕生して間もない団体でございます。本日は、当センターについて皆様にご案内をいたしたくお時間を頂いたところでございます。本日はどうぞよろしくお願いいたします。

当センターの概要についてでございます。当センターは、昨年12月に法人登記をし、今年の4月に事務局を設置し、6月より本格的に運営を開始したところでございます。

事務局の所在地でございますが、江戸川区西小松川町にございます。建物は、中央くすのきカルチャーセンターとなり、その一部をお借りして事務局がございす。くすのきカルチャーセンターには、カルチャーセ

ンター、当センターの他にシルバー人材センターの事務局が併設されております。

電話番号、E-mail、HP についてお示ししてありますが、こちらにホームページの QR コードも載せてございます。HP につきましては、まだまだ至らない点がございますが、ぜひご覧いただければ幸いです。

つづきまして、当センターの目的でございます。それは、働く意欲のある方々に対し、個々に沿った就労環境を提供することでございます。就労は、収入を得て、経済的自立を図ることは勿論のこと、働くことにより生きがいを感じたり、健康に繋がるものであったり、また、人生での自己実現、社会貢献に繋がるものでございます。そういった意味では、日々の生活を送るうえで働くことは欠かせないものです。

ただ、一方で、働く意欲はあるものの、就労に結びついていない方も多くいらっしゃいます。当センターでは、障害をお持ちの方に限らず、ひきこもり状態にある方、高齢者などで、なかなか就労に結びつくことが難しい方に対し、より重点をおいて事業を進めております。なかなか就労に結びついていない方の声ですが、一般就労し、収入を得て、自立したいといった声であったり、ひきこもり状態にある方の声では、まずは少しの時間から働くことで社会に慣れていきたいといったこととお聞きします。また、退職して間もない方については、これまでの経験を活かし、バリバリと現役の時と同じように働きたいといった声が挙げられます。

続きまして就労への課題と当センターの実績でございます。まず、障害をお持ちの方については、職場環境、中でもバリアフリー化などのハード面が整っていないことが挙げられます。また、知的障害の方については、臨機応変に業務に対応することが難しいなどがございます。

江戸川区役所ではオフィスサポートセンターを立ち上げました。オフィスサポートセンターでは、江戸川区役所で生じる封入封緘、シュレッダー作業、ラベル貼り等を一括して、障害をお持ちの方が業務にあたっております。ここでは、障害をお持ちの方が5名、そして業務を管理する人材2名が業務に従事しておりますが、人材につきましては、当センターから江戸川区役所にご紹介し、採用に至った方々です。

先ほど、知的障害をお持ちの方で、業務の中で臨機応変に対応することが難しい場合があるとお話しましたが、一方で集中して継続し、丁寧に業務に取り組むことができます。これは、特性でもあります。これが強みでもあり、こういった強みを活かしながら、活躍されています。

続いて、ひきこもり状態にある方にある方ですが、まず働くことにブランクがありますので、長い時間を働くことが困難である方が多くを占めます。また、社会経験が乏しく、なかなか、一步を踏み出せない現状がございます。そのような中で、区内のお寺さんからお仕事を頂いております。例えば単発のお仕事で3時間、3日間のお仕事であったり、週2日間、1日2時間のお仕事を継続的に頂いております。業務内容としましては、本堂の窓ふき、仏具の磨き作業などです。このよ

うなお仕事は、大変ありがたく思っております。仕事が終わった後に働いた方とお話をするのですが、2時間働くだけでも本当に大変で、精神的にも疲れたけれど、体力的にも疲れましてと言っていました。ただ、達成感を感じることもでき、次の機会もやりたいと言ってくれまして、私どもとしても嬉しい気持ちになりました。

高齢者についてですが、年齢だけで能力を判断されてしまうといったことが課題としてございます。しかし、実際のところはバリバリ働ける体力、そして能力をお持ちの方々が多くいらっしゃいます。現在、江戸川区より調査業務について労働者派遣としてお仕事を頂いておりますが、ここでの業務は電話対応、調査票の集計、そして調査の回答がない方に対する訪問業務などです。ここでは退職間もない方から70歳を超える方までおおよそ30名程度の高齢者の方が、これまで培った知識、経験を活かして活躍されています。

この他、外国人の方やLGBTの方も当センターの会員としていらっしゃいます。現状では、まだ就労に結びついておりません。外国人の方の就労への課題としましては、言語や文化が異なることでコミュニケーションが円滑に図れない、職場の理解がなされないといったことがございます。

また、LGBTの方については、当センターで、ある事業者様に対し、雇用のご相談をさせて頂いたことがございます。しかし、トイレや更衣室などハード面の環境が整っていない、職場の理解が得られないといった理由により、面接を受けることも困難でありました。ただ、LGBTということだけなのですが、就労に結びつけることについて非常に難しさを感じております。

事業者様にお願いしたいことと資料にお示ししましたが、当センターが、今やらなければならないことが3つございます。まず、一点目でございますが、まだまだ、当センターの存在は知られておりません。本日も当センターをまず知って頂きたいということもあり、このような機会でお話をさせて頂いております。皆様の頭の片隅に当センターの存在をおいて頂き、勿論、内容によりましては、何かの機会の時がございましたら、ぜひ、当センターご案内頂ければ幸いです。

そして、二点目でございますが、会員の獲得でございます。6月から運営を開始し、相談件数、会員登録とおおよそ120件程度でございます。まだまだ、働く意欲はをお持ちですが、就労に結びついていない方は、数多く地域にいらっしゃいます。そのような方が、もしいらっしゃいましたら、ぜひ当センターをご案内ください。

三点目としましては、就労機会の開拓、確保です。この点につきましては、最重点項目でございまして、当センターに会員登録を頂いたものの、十分に就労の場をまだまだ提供できておりません。一つひとつ、事例、実績を作り、その事例をもって地域の事業者様に対し、取組みを発信してまいります。また、就労に結びついたケースについてHP等でも発信していきたいと考えております。皆様におかれましては人材の活用をお考えの場合や、就労機会をご提供いただけることがござ

いましたら、ぜひ、当センターまでご連絡頂きたく存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

先ほど、鈴木所長からSDGsのお話がありました。SDGsの取り組みでは誰一人取り残さないをスローガンとしておりますが、それは、共生社会の実現につながるものでございます。障害、年齢、LGBTなど、そういった属性に関わらず、そういった属性自体がなくなり、得意なこと、不得意なことを互いに補い、自分らしく当たり前に働ける社会を目指して取り組みを進めてまいります。

本日は、大変貴重な機会をありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

同行者：江戸川区福祉部障害者福祉課長 河本豊美様

■点鐘：東京臨海 RC 佐藤大輔会長
東京臨海北斗 RSC 坂本康朋議長



秋の家庭集会報告

第8グループ議事録

2021年11月1日（月）実施

テーマ『ロータリアンの行動規範：クラブ活動への参加』

参加者：高橋（リーダー）、井上（サブリーダー）、
内海、菅澤、吉成、栗山、小林、大貫、須田

1. ロータリアンの行動規範、その他ロータリー用語等の確認

（ロータリアンの行動規範）

ロータリアンとして、私は以下のように行動する。

- ・個人として、また事業において、高潔さと高い倫理基準をもって行動する。
- ・取引のすべてにおいて公正に努め、相手とその職業に対して尊重の念をもって接する。
- ・自分の職業スキルを生かして、若い人びとを導き、特別なニーズを抱える人びとを助け、地域社会や世界中の人びとの生活の質を高める。
- ・ロータリーやほかのロータリアンの評判を落とすような言動は避ける。
- ・ロータリーの会合、行事、活動においてハラスメントのない環境を維持し、ハラスメントの疑いがあれば報告し、ハラスメントを報告した人への報復が起こらないようにする。

（ロータリー用語一部抜粋 SAA 【Sergeant-at-Arms】 出典：ロータリー用語辞典）

SAAは、例会やその他の会合で、会が秩序正しく楽しい雰囲気運営されるための進行役を務めるもので、クラブ役員の1人が担当します。私語の防止、座席の整理や食事、配布資料等のチェックの他、親睦委員とも協力し、共に来客や会員を笑顔で迎え入れることも受け持ちます。例会途中での退席者への注意も任務の一つです。会員の人数を考慮し、理事会の承認を得て、副SAAを選任することも出来ます。

2. 会員間の意見交換

- ・ロータリークラブでは、例会時に、皆ロータリーバッジをつけて正装をし、背筋を伸ばして参加している。自分も同じようにクラブ活動にかっこよく参加していきたい。
- ・独立1年目で、「経営者として経営について学びたい」という思いで、ロータリークラブに入会した。行動規範を意識して、まずは例会にちゃんと出席していきたい。
- ・ロータリークラブで一番すごいなと思ったのは、皆さん意識が高いこと。社長や幹部だから意識が高いのではなく、意識が高い人たちが集まっているように思う。活動に参加していく中で、改めて自分の行動を振り返っているのかなと思った。
- ・まだ入会したばかりであるが、職業奉仕・クラブ奉仕等、社会貢献をする意識をもって、皆さんと一緒に活動していきたい。
- ・ロータリアンの行動規範の中に、「個人と事業において、高い倫理基準をもって行動すること」が掲げられている。これは専門家も同様であり、例えば公認会計士の場合は、自主規制として職業倫理が定められており、毎年必ず研修を受け、その重要性を確認することとなっている。法律に違反すれば罰せられるが、一方、倫理には法的な強制力がないことから、罰せられることはない。だからこそ、自主的に高い倫理基準をもって行動することは重要であり、高潔さと高い倫理基準をしっかりとって、クラブ活動に参加していきたい。
- ・同業の社長とは普段から交流があるが、異業種の社長とは普段はあまり接点がない。クラブ活動に参加して、普段は接点がない方たちと話せることが毎回楽しみである。
- ・自分は死ぬまで勉強だと思っており、異業種の方や起業家の話を聞けるのは非常に勉強になる。社長は会社を作れば誰でもなれるけれど、経営者には簡単にはなれない。クラブ活動を通して、スキルや人生観を皆さんと勉強させて頂きたい。
- ・「ロータリアンとしてどう見られるか？」ということを大切に行動している。例えばビジターがいらしたときに、「ロータリーの良さ」をうまく伝えられるように、行動規範、見られ方を意識して行動している。ロータリーの真の良さは、参加しないとわからないので、新入会員の皆さんは、”あの人の能力を真似し

て盗んでやろう“という気持ちで、まずは例会から参加して行ってほしい。

- ・ロータリーとの出会いで会社の業績も規模も、大きく成長した。ロータリーの行動規範は、すべて仕事に通じるものがあり、人に仕事を任せるスキルになっている。

ロータリークラブは世界的に、「自分の職業を高めたい」、「みんなで職業を高めていきたい」というイメージの方が入会している。自分たちを磨くと同時に、新しい会員のお手本になるように、行動していきたい。

- ・(新入会員の方は) SAA の単語の意味が、今回の家庭集会で初めて分かったという声が多かった。直訳すると武装軍曹であり、会場の秩序を維持する重要な役割である。

第7グループ議事録

テーマ『ロータリアンの行動規範：クラブ活動への参加』

参加者：鈴木（リーダー）大西（サブリーダー）
酒井、虻川、秋田

リーダーの鈴木会員より A4 1 枚のレジュメを作成いただき、それに従って「家庭集会がなぜ大切なのか」、「ロータリーの創立、出席免除、会合の種類及びクラブ運営の委員会等の基礎知識」について、非常に詳細な説明を冒頭大半の時間を使いしていただいた。（メモより一部のみ抜粋）

- ・家庭集会とは炉辺会議であり、4-5 人の構成で行う。
- ・増強とは人を増やすこと、拡大とはクラブを増やすこと
- ・会員数は、米国が一番で日本が二番。
- ・多いときは日本人ロータリアンも 10 万人以上居た。
- ・東京地区にいた人が作ったから、沖縄とかグアムも東京の地区となっている。
- ・RI 会長を 3 人の日本人が勤めた。
- ・中国・ロシアの社会主義国には存在しない。ロータリーの友に分布図が出ている。
- ・地域の各業種の長のあつまりであることから、1 業種 1 社が原則。50 人以上のクラブは免除。
- ・会費が払えて、例会に参加できるのであれば入会 OK となってきた。それが故に改めて行動規範の話は重要になってきている。
- ・臨海西の創設費を、臨海の基金から負担
- ・葬儀の香典返しは、クラブ基金への返礼が通例
- ・ニコニコは年間 250 万程度集まる。当クラブは運営費へ回していない。
- ・クラブ運営の損益分岐点は、35 人であると考え
- ・現在の臨海 RC は 145 人入会して、3 分の 1 が残っている計算
- ・30 歳以下でも問題ないが、地域の業種の長の集まりで、1 業種 1 社が原則
- ・SAA とは、Sergeant-at-Arms の略記で会場監督の意味。中世のヨーロッパの議場や宮廷で秩序を維持し、施設の管理を統括する高官をいう。
- ・米山奨学は、税額控除を受けられるが、他は受けられ

ないので注意。

- ・出席免除は、「年齢+ロータリー歴」≥85 で免除される。あとは、長期的な病気も免除。
- ・RYLA 14-30 歳、インターアクト 高校生、ロータリーアクト 18-30 歳
- ・クラブ奉仕とは、クラブへの参加である。

その他多数。

その後、自己紹介と何を求めてロータリーに入会したか及び四つのテストについてのテーマで議論。

その中の備忘メモから一部抜粋。

（鈴木会員）

- ・信じあえる仲間と仕事をしていこうよというのがロータリー
- ・情報の宝庫である。全部そろってしまうのがロータリー
- ・経営者の悩みというのは経営者しか解決できない。
- ・いつしか与える立場にならないといけない。そのために自事業を確固たるものにすることは大事なこと。
- ・115 年続いている理由は、行動規範をもち、倫理基準をもち、哲学を持ち協議ができる仲間がいること。宗教ではない。
- ・4 つのテストに照らすことが重要である。
- ・物は変わるけど、人のハートは変わらない。だから RC は素晴らしい。
- ・ロータリアンの行動規範は、自分の職業をどう感じ、公正にどう行動できるか。支えてくれる人を裏切らないということ。

（酒井会員）

- ・基本的には職業奉仕。大事なものは 4 つのテスト。結果、皆で稼いで奉仕活動につなげていく。
- ・もらうだけでなく与える側になるために自事業を確固たるものにすることは大事なこと。
- ・岸田総理から成長と分配のワードが出ているが、成長がないと本当の分配はできない。ロータリアンとしても同じである。
- ・相互に高潔なものにする。倫理感が重要と考える。
- ・常に事業推進上 4 つのテストに照らして逸していない意識して確認を行っている。
- ・いろんな役をやっても自分を律し勘違いしないようにすることは大事。

（大西会員）

- ・ロータリーとは、社会奉仕である。
- ・やっていただいたことに対して 120% で皆に返して行きたいと考えている
- ・ただ「みんなに公平」については特に、自身まだまだ至らずの思いである

（虻川会員）

- ・経営者の悩みについて、答えを教えてくれるのがロータリー
- ・社会奉仕というよりは経営を勉強させていただけるというイメージ
- ・高潔さと高い倫理基準というのを常に意識して行動している。
- ・幅を拡げるというよりは、上記に照らして合致するものに集中して取り組むようにしている。

(秋田会員)

- ・ 入会間もないが故に、職業奉仕の部分の享受を一番に感じる。
- ・ 与えられる側から与える側になれるよう努力したい。